

京都薬科大学内PCR

学外実習の薬学部生対象

京都薬科大(山科区)は、室で15日、最初の5人の検査を行った。

病院や薬局へ実習に出る薬学部の学生を対象に、新型コロナウイルス感染症の有無を調べるPCR検査を学内で行うと発表した。京都市から設置認可を受けた検査

査を受けるよう求められたことがあり、実習生を送る側の責任として、学生の検査を行う必要があると判断したという。

大学の産業医が対応する。検査の実績を積んで精度を向上させた後には、自治体からの要請があれば学外からも検査を受け入れる方針だという。

6年制薬学部の学生は5年生になると、学外で11週間の実習を受ける必要がある。大学によると、受け入れ側から実習前にPCR検査能力があり、学生は実習前と実習途中に検査を受ける。陽性が確認された場合、